

# IKUBOSS PRESS

2019.SPRING 【発行:北九州イクボス同盟】

●●●イクボス先進企業インタビュー ●●●

株式会社ビー・エス・エス

## やらされ感なく社員の自律的成長を目指す。 諦めないコミュニケーションでビジョン共有。

組織の持続的成長のためにも、社員一人ひとりのスキルアップは欠かせない要素。

一方で、組織が提供する研修や育成の機会を、社員が主体的に活用するには…という悩みも多い。

今回は、社員の主体性を引き出し「やらされ感」のない人材育成を目指すイクボスの声をお伝えします。



イクボスに聞きました

株式会社ビー・エス・エス  
代表取締役

佐藤 昭夫さん

当社は2010年に「人材育成方針」を固め、社員の潜在能力の開発に取り組んできましたが、会社主導では「やらされ感」を抱く社員もおり、主体性を引き出すのに苦戦していました。そこで2018年度には30代のサブリーダー層を中心に組織の課題解決を目的とした「次世代リーダープロジェクト」活動を始動しました。課題解決を通じて自身の成長課題に向き合い、育成につなげる目的です。最も重視したのが、会社が方針を示した後は主体性を信じて任せ、彼らの自由な発想を活かすという点。しかし活動当初は、多くのメンバーが「自分の意見を出していいのか…?」と遠慮してばかりで苦しみました。そこで活動をサポートする部長達と共に、メンバーに活動の目的を根気強く説明し続け、「会社が求める答えではなく自分達が

やりたいことは何か?」を問い続けました。その甲斐あって、現在はメンバー達の自由な発言の中から改善案や新規事業の芽が出始めています。

諦めないコミュニケーションを重視し、私自身も社員全員とはメールやSNSではなく、直に対話する時間をとっています。社長面談を形式化せず、顔を見かけたら声をかける、最近話ができている社員には「今度会って話せる?」と自ら約束を取り付け、対面で話します。気軽な雑談や悩み相談など普段の積み重ねが、コミュニケーション活性化につながっています。人材育成も全社の決定事項だからと押し付けず、会社の方針や目的を社員全員が納得してくれるまで伝え続けることが、結果的に社員の主体性発揮につながると実感しています。社員が自律的に学びを深めな

が「ここで働き続けたい、新しいことを生み出したい」と仕事に打ち込める、そんな組織づくりが私の役割です。当社でイキイキと働く社員が増えれば「こんな先輩がいる会社で働きたい」と夢を持つ若い世代にも魅力を感じてもらえるはずです。社員の自律的成長が、社員自身の価値を高め、組織力向上はもとより、未来の人材採用にも好循環を生み出すと信じて、これからも邁進し続けます。

- 所在地:小倉北区浅野2-11-15  
小倉興産KMMビル別館1F
- 業種:情報サービス業
- 創業:1994年
- 従業員数:41名(うち女性10名)



社員の強みを発見し互いに理解し合う研修を行い、個々の持ち味が発揮できるようマネジメントにも活かしている。

## 北九州イクボス同盟に参加しませんか?

北九州イクボス同盟では、イクボス式マネジメントを通じて誰もが働きやすい職場につながる研修会等を開催。

私たちと一緒に働き方改革の第一歩を踏み出ませんか?

加盟企業/110社・団体(2019年2月28日現在) 加盟条件/北九州市内に事業所を有し、設立趣旨に賛同する企業・団体

詳細・お申込は

北九州イクボス



©2018 北九州イクボス同盟

### セミナーレポート



## 新しい働き方&ライフワークマネジメント講座、開催!

イクボスセミナー初の「中間管理職」向けセミナーに、市内企業から約30名が参加。部下マネジメントや業務改善のノウハウやワーク等、実践スキル満載の3時間。最後には全員で「イクボス宣言」を書き、自身の職場での実践を宣言しました!

◎日時:2019年2月14日(木)

◎講師:塚越学氏(NPO法人ファザーリング・ジャパン理事、(株)東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部上席シニアコンサルタント)

参加者アンケートより

- 自分でもできる具体例がとても勉強になった。
- イクボス宣言をさっそく実践していきます。
- 会社にも貢献し、自分も仕事を楽しみたい!